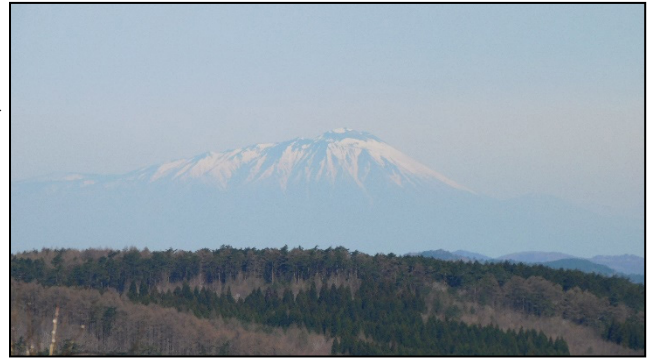


「種山ヶ原は今③1」

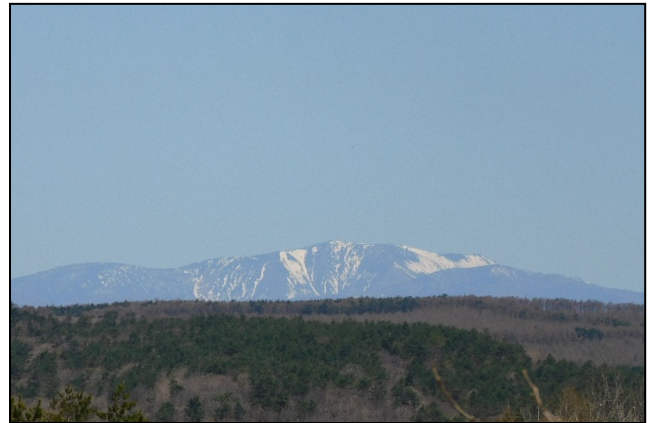
種山ヶ原から岩手山・早池峰山・

奥羽山脈

3月10日面白い現象に出会いました
6時10分種山ヶ原を眺めると写真のよ
うに光の柱が真直ぐ天に。調べると「
太陽柱」らしいです。「早起きは3文の
得」でした。ありがたやありがたや。



14日夕方西の空に。レンズのいたずら？



＜奥羽山脈の焼石連山＞

今年も東菊がかわいい姿を見せてくれました。物見山にも増えてきました。
春リンドウも増えてきています。種山ヶ原を訪れる人達は花好きの方が多く、
できるだけ花を残そうと努力しているのですが・・・。
東菊も種が飛んでから草を刈るようにしています。



5月25日物見山・賢治の森・市道・物見山登山道・駐車場の草刈りを。



春は延34名でどうにか
終えることができました。
50代～80代とはいえ、高
齢者が多いが、米里地元
の手で整備していくしか
ない。年老いても手伝っ
てくれる人に感謝。この
繋がりこそ地域づくりの
基本だと思う。

次は7月半ば過ぎだ。



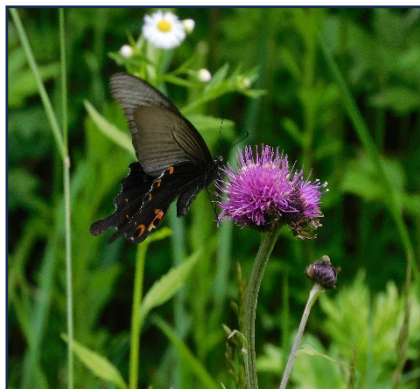
五月に入ると、畜産農家の人達が牛の放牧にやってくる。牛たちもゆったりと草をたべている。畜産農家も少し楽になり、米作りに励む。



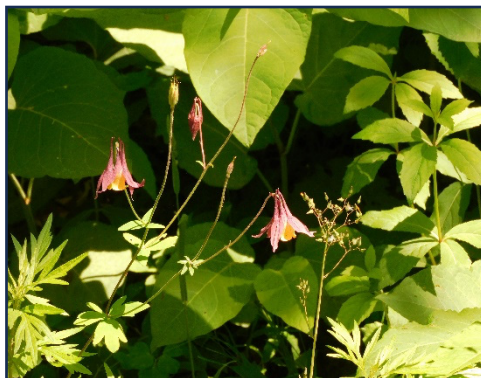
一方草地の牧草刈りが始まる。「種山ヶ原の夜」とは全く違う展開だ。飼料の高騰で本当に大変なようです。草を刈る機械、草をまき散らし乾燥させる機械、草ロールにする機械、白いラップに包む機械。様々な機械を協力しあい昼の内に仕上げていました。女の人も同じように頑張っていました。



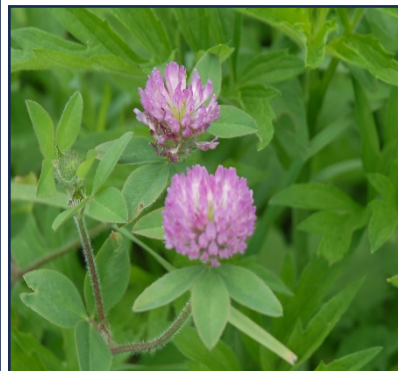
もう初夏山百合の花芽も出始めているが、カモシカに今年も食べられてしまうのか心配です。賢治の森では去年は遊歩道を含めて 20 本程しか見ていない。ウバユリには、なぜかカモシカは口にしません。草刈りの時ウバユリ・アザミは残すようにしてきました。これからは鬼ユリ・マツヨイグサ・萩、そしてオミナエシ・ナデシコに気をつけていこう。なぜかフランス菊が増えてきました。自然界も少しずつ変わってきています。どう守ればいいのでしょうか。



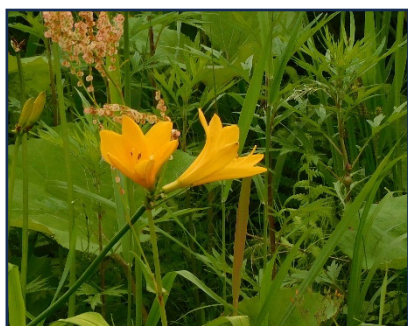
アザミとクロアゲハ



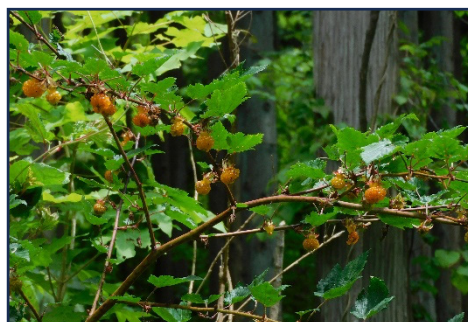
オダマキ



アカツメクサ



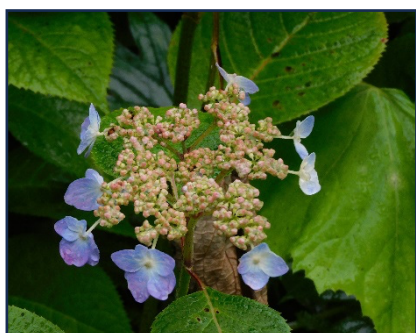
ノカンゾウ



キイチゴ



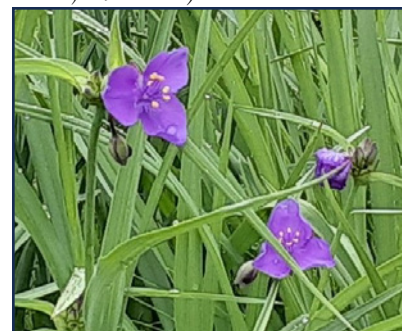
チゴユリ



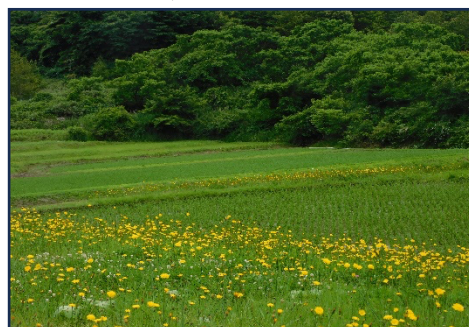
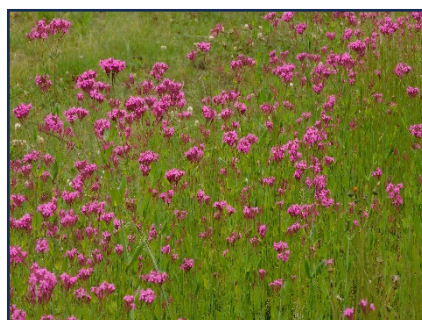
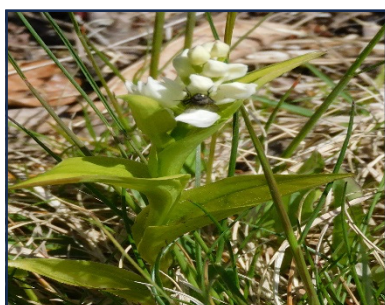
ヤマアジサイ



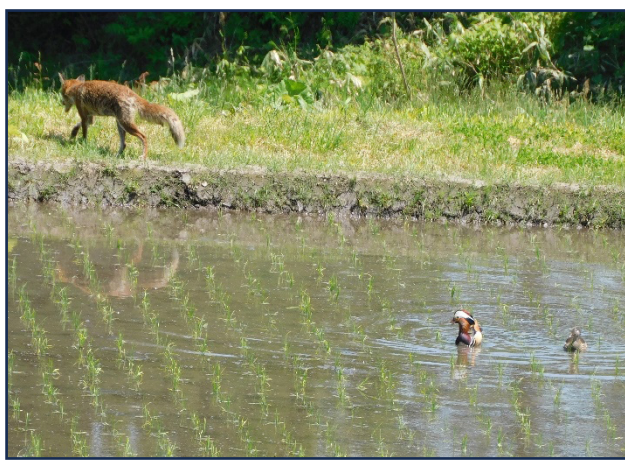
熊いちご



ツユクサ



去年見つけたおしどり夫婦に子供ができたようです。多分去年キツネから逃れたオシドリ夫婦に子供ができたのでしょう。オシドリ一家5羽が田んぼで水遊びをしていました。喜ばしいことです。



「鹿・イノシシ被害」

田植えをして2週間ほどの田んぼに鹿が親子で稲を食べていました。又、イノシシが入った田んぼの米は買ってくれないと嘆いているとも聞きました。農家の人達は大変です。電気柵で守るにも負担が多く、離農する人が多いです。動物は餌を食べている時は、人など気にしません。20mほどの所で見えていましたが、逃げません。熊もそうでした。



草刈りを終えて休んでいるとカケスが来た。この鳥も一部渡りをする。3年前ここで数百羽の渡りを見た。すごかった。